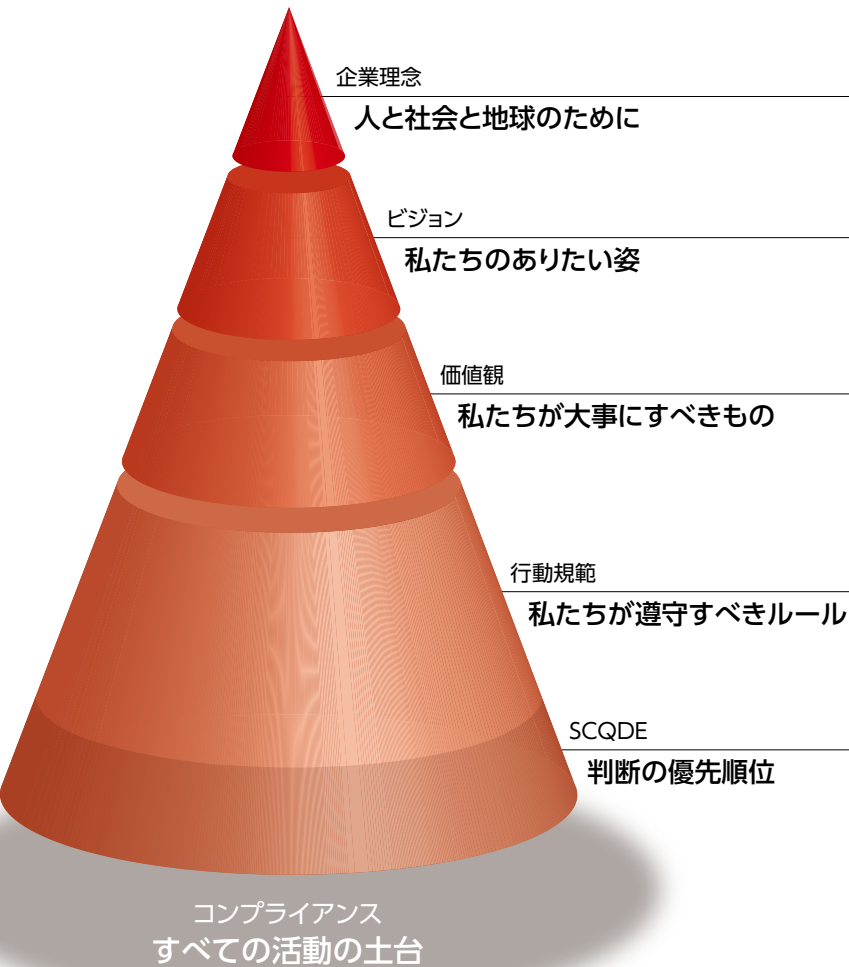


三菱マテリアルグループの企業理念は「人と社会と地球のために」です。
私たちはこの企業理念の実現に向け、経営資源を活かしながら
事業活動を進め、社会の持続的な発展に寄与していきます。



三菱マテリアルグループの
企業理念体系

三菱マテリアルグループの企業理念は「人と社会と地球のために」です。私たちはこの企業理念の実現に向け、経営資源を活かしながら業務を進め、社会の持続的な発展に寄与していきます。

私たちの企業理念体系は、この企業理念を一番上にして「ビジョン」「価値観」「行動規範」で成り立っています。「SCQDE」は、業務遂行における判断の優先順位です。そして「コンプライアンス」は、すべての活動の土台となるものです。

私たち一人ひとり、この内容をよりどころに、それぞれの役割において、日々誠実に業務を実践します。それによって、より良い、明日の三菱マテリアルグループを創りだし、人と社会と地球のために貢献していくことを固く誓います。

- ① **S Safety & Health**
安全・健康最優先
 - ② **C Compliance & Environment**
法令遵守、公正な活動、環境保全
 - ③ **Q Quality**
「顧客」に提供する製品・サービス等の品質
 - ④ **D Delivery**
納期厳守
 - ⑤ **E Earnings**
適正利益
- 品質管理の観点に立ち、利益よりも**SCQ遵守の徹底**を優先……
- ④まで満たして、はじめて「顧客」の信頼が得られる
- ⑤はSCQDEは私たちが業務を行う上での判断の優先順位を示したものです。私たちは「顧客」に製品・サービスを提供するにあたっては、SCQを徹底した上で、Dを満たさなければなりません。それらを誠実に実行し続けることが「顧客」や社会からの信頼に繋がります。これによって得られるものが、適正な利益であると考えます。
- ※「SCQDE」の読み方は「エスシーキューディーイー」を指します。

グループガバナンス強化への取り組みのひとつとして「SCQDE」を2018年度に制定しました。「安全・健康 (S)、コンプライアンス・環境保全 (C)、品質 (Q)、納期 (D)、利益 (E)」を表しています。いずれも重要な要素ですが、業務を行ううえでの判断の優先順位を示したもので、行動規範を補足する指針として位置付けています。

三菱マテリアル WEBサイト
<https://www.mmc.co.jp/>

統合報告書2020
日本語版、英語版があり、冊子及びPDFで発行しています。

財務データブック PDF
(英語版のみ)

三菱マテリアルグループの財務情報について、詳細データを報告しています。

ESGレポート PDF
(日本語版・英語版)

三菱マテリアルグループのESGの取り組みや、CSRマネジメントについて、詳細データも含め報告しています。

CONTENTS

2 トップメッセージ
企業価値創造に向けて
～社会的価値と経済的価値の両立と経営の持続性の確保～

- 3 前中期経営戦略の振り返りから現中期経営戦略へ
- 4 22中経
 - 22中経の全体像
 - 会社の目指す姿
 - 全社方針
 - 事業戦略
 - コーポレート戦略
 - 持続性の確保
 - 財務計画と新型コロナウイルス感染症の影響について
- 9 より次元の高い企業価値創造に向けて

10 三菱マテリアルグループについて

- 10 三菱マテリアルのDNA
- 12 三菱マテリアルの強み
- 14 価値創造プロセス
- 16 重要課題の特定とその対応

18 事業戦略

- 18 高機能製品
- 22 加工事業
- 26 金属事業
- 30 セメント事業
- 34 環境・エネルギー事業
- 38 その他事業 (アルミ事業・関連事業)

39 コーポレート戦略

- コーポレート戦略
- 39 研究開発・マーケティング戦略
 - 40 ものづくり戦略
 - 41 品質管理戦略
 - 42 デジタル化戦略
 - 44 人事・人材戦略

基盤強化

- 45 労働安全衛生
- 46 コンプライアンス
- 48 リスクマネジメント
- 51 気候変動
- 52 環境マネジメント
- 53 休廃止鉱山
- 54 情報セキュリティ
- 55 ステークホルダーコミュニケーション

56 ガバナンス

- 58 役員のご紹介
- 60 取締役会議長メッセージ
- 61 指名・監査・報酬 各委員長 (社外取締役) からのメッセージ
- 64 コーポレート・ガバナンス
- 70 グループ全体のガバナンスの強化に向けて
- 72 グループガバナンス体制強化策
- 74 品質管理に係るガバナンス体制の再構築策及び再発防止策
- 76 サステナブル経営推進本部について

77 財務・非財務情報／企業情報

- 78 10ヵ年財務サマリー／中期経営計画及び戦略の推移
- 80 財務諸表
- 82 パフォーマンスハイライト (財務・非財務)
- 84 グローバルアトラス
- 86 株式情報

編集方針

本報告書は、お客様、株主・投資家をはじめとする多様なステークホルダーの皆様に、当社グループが目指す事業の方向性を、財務・非財務の両面からお伝えし、ご理解いただくことを目的に発行しています。

さまざまな社会的要請を起点に、当社グループの強みを活かして新たな価値を創出することにより、持続的成長を目指す姿を分かりやすくまとめ、皆様とのコミュニケーションツールとして活用していきます。

本報告書の編集にあたっては、IIRC (国際統合報告評議会) が提唱する「国際統合報告フレームワーク」及びGRIスタンダード (Global Reporting Initiative Standards)、経済産業省「価値協創ガイドライン」を参照しています。

業績に関する記載は、2020年5月27日時点の情報に基き掲載しています。



■ 対象範囲

三菱マテリアル (株) を中心に、グループ会社を含みます。非財務情報の対象範囲についてはESGレポートをご参照ください。

■ 対象期間

2019年度 (2019年4月1日～2020年3月31日)
※最新の状況をご報告するため、2020年4月以降の情報も掲載しています。

■ 発行時期

2020年7月

■ 将来に対する予測等に関する注意事項

本報告書には、過去または現在の実事に関するもの以外に、当社グループの将来に対する予測・予想・計画等も記載しています。これらは現時点で入手可能な情報に基づいた仮定ないし判断であり、将来の事業環境の変化等によって影響を受ける可能性があることをあらかじめお断りします。

ESG投資のための株価指数の構成銘柄への採用
(2020年7月現在)

2020 CONSTITUENT MSCI ジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI 日本株
女性活躍指数 (WIN)

MSCI社®による「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」及び「MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)」の構成銘柄に採用されています。それぞれESG及び性別多様性の取り組みに優れた企業で構成され、年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が行うESG投資における運用指数に選定されています。

※MSCI社:モルガン スタンレー キャピタルインターナショナル

THE INCLUSION OF Mitsubishi Materials Corporation IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Mitsubishi Materials Corporation BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



ECPI社による「ECPI INDICES」の構成銘柄に採用されています。ECPI社はイタリアとルクセンブルクに拠点を置く、持続可能性を専門とした投資運用助言会社で、企業のESGに関する調査・格付けを行っています。